

令和4年度「若人の賞」受賞予定者一覧

	氏名 (住所)	性別	年齢	主な活動分野 総活動歴 (リーダー歴)	主な活動団体 (所在地)	活動内容
1	おかざき しょうご 岡崎 正悟 (芦屋市)	男	29	青少年活動 21年6月 (12年)	日本ボーイスカウト兵庫連盟 (芦屋市)	<p>○平成23年6月より、芦屋第3団ボーイスカウト隊（小学6年～中学3年対象）の副長補として指導者活動を開始。</p> <p>○平成26年4月より、阪神さくら地区（西宮・芦屋）のユース委員長を務める。ユース世代（18歳～30歳）の代表として組織への青年の参画を含め、活動の活性に尽力した。</p> <p>○2021年（令和3年）1月より、兵庫連盟副コミッショナーとして、県内の若手指導者及び兵庫ローバース（18歳～25歳の部門）の支援と活性に尽力している。</p>
2	おかべ ゆうき 岡部 祐希 (播磨町)	女	24	文化活動 5年6月 (-)	日本民謡兵庫美祐会 (加古川市)	<p>○幼少期から各種大会の少年少女の部門において数々の最優秀賞を獲得するとともに、高校入学後は一般の部門で経験豊富な全国の出場者と競い合うなか、平成29年の第52回産経民謡大賞の内閣総理大臣賞受賞をはじめ、これまで26回にわたって全国の頂点に立つなど、その才能を発揮している。</p> <p>○地元の播磨町において、同町の歴史・文化等の誇れる特性を広くPRするために設けられている「播磨町ふるさとPR大使」を平成31年1月より務め、テレビ番組への出演をはじめとした様々な活動を通じて同町の魅力発信に貢献している。</p> <p>○地域の敬老会やデイサービスセンターで民謡を披露するなど、民謡を通じた地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。</p>
3	さかもと しゅうと 阪本 嵩仁 (尼崎市)	男	28	文化活動 15年6月 (9年6月)	太鼓楽団・大地の会 (尼崎市)	<p>○平成25年4月より、中学生の頃からメンバーであった和太鼓楽器組の主宰となり、メンバーへの演奏指導やコンサート、太鼓教室を企画、開催するなどの活動を行う。</p> <p>○平成25年8月より、研修生として太鼓楽団大地の会に入団し、当時より様々なコンサートやイベント、学校公演等に出演。</p> <p>○平成29年4月より、太鼓楽団大地の会の主要メンバーとして、全国各地でのコンサート活動や海外客船内での演奏、海外ツアー等に参加している。</p>
4	ちやたに 茶谷まりん (姫路市)	女	22	福祉活動 3年 (-)	コンソーシアムひょうご (岡山県・熊本県)	<p>○令和元年4月より、学生災害ボランティア・ネットワーク事業を実施。一般学生として、水害のあった岡山県倉敷市真備町で住民への事前ヒアリングや仮設住宅でのイベント、その他ボランティア活動を行った。</p> <p>○令和2年より、学生スタッフとして、真備町を担当。コロナ禍のためオンラインでの傾聴ボランティアをメインで行った。</p> <p>○令和3年4月より、学生スタッフとして、岡山県だけでなく、熊本県も担当。主に岡山県倉敷市真備町、岡山県立矢掛高等学校において活動した。事前ヒアリングや実際に真備町を歩き、写真洗浄の方や矢掛高校生に話しを伺った上で、チームの学生ボランティアと話し合った。災害を暗い、タブーといったイメージを払拭しつつ学ぶことのできる「真備災害すごろく」を作成。</p>
5	なんこう かいと 南光 開斗 (宍粟市)	男	18	その他特に表彰に値すると認められる少年 1年 (-)	千種高等学校生徒会 (宍粟市)	<p>○令和4年6月11日(土)に、学校グラウンドで「こく映画祭2022」と題して、約300人の観客を集めて夜空下で上映。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大により、高校生活においては地域住民との交流が中止されるなど、様々な場面で制約を受けた中で、鬱屈し攻撃的になってきている社会の雰囲気を和らげたいという思いを持ち、学校周辺の豊かな自然の魅力をやさしく穏やかな時空間の中で感じ取れるイベントができないかと考え、誰もが楽しめる映画を屋外で上映する企画を立案した。</p> <p>○令和3年9月から準備に取りかかり、地元のスクリーン会社、東京の上映会社やNPO法人等に自分たちで交渉し、また地域の自治体や自治会等への協力依頼も行い、一部機材の無償提供や地域の方々のボランティア等の援助を得た。さらに、無料で観覧とするため不足する資金については、各自が分担して募金を集め、運営費に充てた。</p>